

平成7年度 和歌山県文化奨励賞

そうがわまつりほぞんかい 寒川祭保存会

設立：昭和35年

会長：東 茂良

所在地：和歌山県日高郡美山村

会員数：32名

■主な表彰歴等

昭和40年 和歌山県無形民俗文化財指定

昭和60年 御坊文化財研究会表彰

◎業績及び経歴

寒川祭の獅子舞は、旧寒川村誌に宝暦8年(西暦1758年)の明神御祭礼之事として、浪人医者岡本橋順が伝授したことに始まると記録されている。

祭礼は、近年11月2日宵宮、3日本祭が行われ、本祭は神前式の後、渡御に移り、神社からお旅所までの道中を王仁、和仁がむずかる獅子をなだめすかしながら道案内し、笛・大小太鼓・鉦にはやされながら舞い進み、薙刀の舞、剣の舞、鈴神楽を奉納する。酒気を帯びない規律の厳正なことと、品位のある神賑行事として有名である。

保存会では、この歴史ある伝統文化を後世に伝えようと弛まず研鑽努力し、地元小中学生の指導も行っている。また、県内外の民俗芸能大会に参加することで、その活動は広く、高く評価されている。

このような保存会の活発な活動により、郷土の文化財が保存され、継承されていき、地域文化の保護育成に大きく貢献されている。